

明治の街を彩った文明開化の装い

明治おしゃれ物語

2026年
1/10_土
↓
3/22_日

10:00 - 17:00 入場無料

月曜休館 1/12・2/23(月・祝祭日)は開館、1/13・2/24(火)は休館

ガスミュージアム「ガス灯館」2階ギャラリー



ガスミュージアム

GAS MUSEUM ガス資料館

明治おしやれ物語

明治の街を彩った文明開化の装い

ガス燈が横浜や東京の街に灯り始めた文明開化の頃、街中では洋装を纏う人々の姿が見られるようになりました。男性の洋装を中心に皇族や上流階級の女性の間で洋装が広まり、それは欧米諸国に日本の西洋化を示す外交的な意味合いもありました。

本企画展では、明治の街を彩った人々の「おしやれ」な姿を描いた錦絵の展示を通して文明開化の中で和装と洋装が織りなす情緒ある街の様子をご覧ください。さらに、明治時代の婦人雑誌などから、舶来品への憧れや髪飾りへのこだわりといった、当時の人々の『おしやれ』への思いや流行を探ります。

また、洋裁に欠かせないアイロンの変化にも着目します。素早く熱くなり生地を汚さないガスアイロンと、それ以前に使われていた炭を用いたアイロンを展示し、その違いをご覧ください。

常設展では、明治期の西洋化を象徴する建物・鹿鳴館に実際に設置されていたガスランプも展示しており、当時の華やかな洋装の社交場の雰囲気を感じていただけます。

そして、紅ミュージアムのご協力により、『おしやれ』に輝きを添えた明治時代の化粧品についてもご紹介いたします。

明治の『おしやれ』に込められた多様な物語を是非、お楽しみください。



歐洲管絃奏合奏之図 楊洲周延 明治22年(1889)



改良東髪之図 歌川国海 明治18年(1885)



新ばん願世帯まことらえ 歌川国海 年不明



東京番館名所 日本橋天地の奥町 歌川広重(三代) 明治16年(1883)



館来上向脱ガスランプ(「鹿鳴館」設置品) 明治初期(常設展示)



ガス焼機 明治後期

関連イベント・参加費無料

“紅”の歴史と文化に触れる『紅点し体験』

共催：紅ミュージアム

2026/2/14 土

①11:00~12:00 ②14:00~15:00

対象：どなたでも(小学生以下の参加は保護者同伴)

定員：各回 24名

申込：事前予約制(先着順)

※ガスミュージアムHPよりお申込みください

講師：紅ミュージアム

明治期、口元の『おしやれ』に使用した「紅」。紅についての解説と共に、現代のリップスティックとは異なる発色や付け心地を体験できるプログラムです。

表：表上から

東京番館名所 新橋造形子の頭 歌川広重(三代) 明治16年(1883)

文官洋服鑑蔵之図 楊洲周延 明治20年(1887)

口絵「天竺夜会食卓之光景」増補註釈『食道楽』表の巻より 明治36年(1903)

高貴納涼ノ図 楊洲周延 年不明

東京新聞名勝図会 海運(第一国立銀行) 歌川秀虎 明治12年(1879)

皇國貴族鑑蔵之図 楊洲周延 明治20年(1887)



ガスミュージアム **GAS MUSEUM** がす資料館

〒187-0001 東京都小平市大沼町4-31-25

TEL 042-342-1715

開館時間 10:00~17:00

月曜休館 入場無料

<https://www.gasmuseum.jp/>



公式Instagram
@gas.museum

バス 西武池袋線 東久留米駅西口より[武21] 錦城高校前経由
…武蔵小金井駅行き 西武バス「ガスミュージアム入口」
バス停下車徒歩約3分
西武新宿線 花小金井駅北口「花小金井駅入口」バス停より、
またはJR中央線 武蔵小金井駅北口より[武21] 錦城高校経由
…東久留米駅西口行き 西武バス「ガスミュージアム入口」
バス停下車徒歩約3分
徒歩 西武新宿線 小平駅より徒歩約20分(2km)
車 新青梅街道 滝山南交差点角 ※駐車場無料

